

# Shizuoka Well-being Pitch

## 静岡県ウェルビーイングピッチイベント

**行政課題の解決策を、企業が知事へ直接プレゼン！**  
**昨年度は本ピッチイベントから、4件の事業が創出しました！**  
**今年度も、実装を見据えた具体的な共創提案を募集します！**

静岡県の行政課題に対し、企業から解決策を静岡県知事へ直接提案ができるピッチイベントです。県担当部署と、課題整理から実装までを議論し、具体的な共創事業の創出につなげていきます。行政課題の解決を通じて、県民のウェルビーイング向上につながる提案をお待ちしています。

### 企業募集について

#### 提案募集テーマ

以下の5テーマのうちいずれかをお選び、ご応募ください。

- ① アンコンシャス・バイアスの解消による寛容な地域社会の実現
- ② 静岡県発☆障害者アートレボリューション
- ③ 共働き・共育て社会実装プロジェクト
- ④ ものづくり産業の魅力やキャリアパスの見える化
- ⑤ 県民の「ホンネ」を可視化！幸福実感と政策をつなぐ新提案募集  
⇒概要は裏面をご参照ください。

#### 対象者

課題解決に必要な技術やサービスを持つ県内外の企業であり、静岡県との共創事業に取り組む意欲のある企業

#### お申込み

申込期限7月17日（金）17:00まで

お申し込みは右記の応募フォームからご応募ください。

応募フォーム：<https://forms.office.com/e/nNkupBLdrU> 【応募フォーム】



静岡県 鈴木知事が参加



#### 選考の流れ

- 7月17日（金）17:00 募集締切
- 7月31日（金）予定 書類審査結果通知
- 8月6日（木）または7日（金）  
オンライン面談審査（書類審査通過企業のみ）
- 8月17日（月）頃予定 面談審査結果通知
- 9月7日（月）ピッチ資料事前提出

#### 応募方法

- 応募フォームへの入力（上記応募フォーム参照）
- 提案説明資料の提出  
応募に際し、応募期限までに提案説明資料（PPT）を以下のメールアドレスまでご提出ください。  
[wellbeing-pitch@tohmatu.co.jp](mailto:wellbeing-pitch@tohmatu.co.jp)  
※提案説明資料様式は静岡県HPからダウンロードしてください。

#### Shizuoka Well-being Pitch 当日

- 9月14日（月）13時30分～15時（会場は静岡県庁内予定）
- 登壇企業数：5社



【静岡県HP】

# 募集テーマ

以下①～⑤のテーマの中から1つ選び、「応募フォームへの入力」及び「提案説明資料」を作成のうえ、ご応募ください。  
以下の各テーマは、募集するテーマの現状・課題や解決策として想定している企業との協業イメージを記載しています。  
詳細は、静岡県ホームページに、募集テーマに関する行政課題シートを掲載していますので、下段のリンクからご参照ください。

## ① 多様性と寛容性

## ① アンコンシャス・バイアスの解消による寛容な地域社会の実現

### 現状/課題

- 地域・家庭・職場において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が、女性の活躍を阻害し、若い女性の県外流出の一因にもなっている。
- アンコンシャス・バイアスは、本人に悪意なく表れ、自覚しにくく、行動変容につながりにくい。特に、企業の経営層・管理職や自治会役員など意思決定層の意識・行動が、制度・慣行・役割分担に大きく影響している。

### 企業との協業イメージ

- 企業の経営層・管理職層や自治会役員等を対象に、手軽に自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、行動や組織の見直しにつなげられるような、サービス・ツールなどの仕組みの提案



## ② 文化・芸術

## ② 静岡県発☆障害者アートレボリューション

### 現状/課題

- 障害者アートは、福祉的な取組や社会貢献の一環として認識されることが多く、文化芸術としての魅力や価値が十分に伝わっていない。
- 障害者アートを含む本県の文化芸術について、ポップカルチャーなどのカジュアルな表現の組み合わせにより、新たな関わり方を生み出し、これまで障害者アートに触れたことのない県民や、一般企業・病院・カフェなどのアートの活用層に対する認知を広げていく必要がある。

### 企業との協業イメージ

- 障害者アートを特別なものとしてではなく、日常生活の中で自然に触れ、活用し、関わる機会が広がる仕組みの提案



## ③ 子育て

## ③ 共働き・子育て社会実装プロジェクト

### 現状/課題

- こどもが大切に育てられ、子育てする方が安心して暮らせる社会の実現に向け、共働き・子育ての推進を重要課題としている。特に、男性の家事・育児参画は、子育て負担の軽減、女性の就業継続・キャリア形成、子育ての幸福感向上に直結する重要な要素である。
- 静岡県の育児休業取得率は48.8%まで上昇したものの、男性の1か月以上の育児休業取得はそのうち49.2%にとどまり、十分とは言えず、職場・周囲の理解不足、業務の引継ぎや代替体制への不安などがあり、制度整備だけでなく職場環境や企業文化を変えていく取組が必要である。

### 企業との協業イメージ

- 管理職や同僚の理解促進を図り、育児休業の制度整備、代替人材確保、復職支援を円滑に運用できるような静岡県内企業に向けたモデル構築を支援する仕組みの提案



## ④ 雇用・所得

## ④ ものづくり産業の魅力やキャリアパスの見える化

### 現状/課題

- ものづくりの現場における具体的な仕事の内容、魅力、将来のキャリアパスが若者や保護者に十分伝わっておらず、進路選択時の有力な選択肢として認識されていない。
- 県立工科短期大学校等の職業能力開発施設では、ものづくりの基礎技能から最新のデジタル技術まで学べるカリキュラムや職場実習を通じて、即戦力となる人材を育成しているが、近年は入校者数が減少傾向にある。

### 企業との協業イメージ

- 小中高生及び保護者に対し、静岡県のものでづくり産業の仕事の魅力を可視化し、効果的な情報発信の仕組みや、体験機会を創出する既存事業の効果を高める仕組みの提案



## ⑤ ウェルビーイング

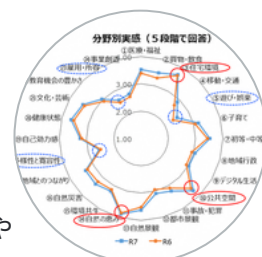
## ⑤ 県民の「ホンネ」を可視化！幸福実感と政策をつなぐ新提案募集

### 現状/課題

- 県民幸福度調査により県民の幸福実感の把握に努め、幸福度指標の調査結果を政策立案に活用している。
- 一方で、県民幸福度調査による全体結果では、背景要因や施策に直結する示唆までは十分に捉えきれず、より効果的な政策立案のために、県民が何を重視して幸福を感じているかを、より具体的に・客観的に把握する必要がある。

### 企業との協業イメージ

- 既存の幸福度調査を補完する形で、幸福実感の背景要因を深掘りできる調査や得られた結果を分かりやすく可視化・分析し、県の政策検討や県民への還元につなげられる手法の提案



募集テーマの詳細については、[静岡県ホームページ](#)をご覧ください。

